



⑧発信する ⑨追究する ⑩粘り強く ⑪つながる ⑫思いや願いを実現しようとする ⑬課題解決する

子どものよりよい成長をめざして

校長 許斐 真也

皆様には、旧年中は本校の子どもたちのために多大なるご支援をいただき、心より感謝いたします。年始にあたり皆様のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

また、新年早々に発生いたしました能登半島地震につきましましては、被災された皆様、関係の皆様はこの場をお借りしまして、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

学校では、子どもたちにできるだけ様々な経験を積ませたいと考えています。読む、書くだけでなく、自分で作ったり、育てたり、詳しい人に尋ねてみたり、学んだことを伝えたり、たくさんあります。そうして子どもに「探究心」に基づく「学び方」を身に付けさせ、「学ぶことが好きな子ども」を育てていきたいです。その力をもって一人ひとりが自分の人生を切り開いていくことを願っています。

今回は新年にあたり「成長」について少し掘り下げてお伝えしたいと思います。

「成長」には二つの側面があります。「量的な成長」と「質的な成長」です。

(「質的な成長」は「非認知能力」と言われることもあります)

「量的な成長」：何らかの検査などによりわかるもの

例) 身長や体重・運動能力 計算の力なども含まれます

「質的な成長」：普段は意識していなくても何かのきっかけで変化に気づくもの

例) 工夫する力・考える力・挑戦する力・優しさ・真面目さなど

この両方の成長が子どもの年齢や生活環境等の中で互いに影響し合い、バランスをとりながら進んでいきます。

では、先月お伝えしたように「子どもをサポートし見守る」私たち大人は子どもに関わる時に何を心掛けておくことが大切でしょうか。

「量的な成長の支援」については

- ・学習するように声をかける
- ・励ます
- ・学び方の工夫等を提案する
- ・取組や努力を認める
- ・次の目標を立てるアドバイスをする

「質的な成長の支援」については

- ・取り組んでいる途中の努力を認める
- ・工夫しているところを褒める
- ・以前よりも…(優しく、等) になっていることに気づくように声かけをする

等でしょうか。「質的な成長」は「心の成長」とも結びついていくものであると考えています。これから先、ますます重要になることは間違いなく、学校は教育活動をより充実していくことで、子どものよりよい成長を支えていきたいです。

今年も職員一同、さらによりよい学校づくりをめざしていきたいと考えています。学校と、家庭と地域が互いに支え合いながら歩いていくことができますよう、これまでと同様、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

